

ベンチャー支援団体「TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)」 地域ので、つくばエクスプレス沿線を日本の“シリコンバレー”に



柏の葉キャンパス駅前にオープンしたおしゃれなカフェ。アジアンフードやお茶、アルコールドリンクを楽しむ人たちが賑わっていますが、実はただのカフェではありません。その名も、「コミュニケーション・インキュベーターカフェ AGORA」。つくばエクスプレス沿線のベンチャー企業を支援・育成する団体「TXアントレプレナーパートナーズ」の活動拠点として、起業家や研究者と地域住民のコミュニティスペースになっています。



先端技術を埋没させずに事業化

「地域住民がベンチャー企業に投資や経営指南」――国内では前例のない地域コミュニティ型のベンチャー支援活動を目指して2009年11月に設立されたのが、TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)です。

つくばエクスプレス(TX)沿線には、東京大学、千葉大学、筑波大学などの学術機関、宇宙航空研究開発機構(JAXA)や産業技術総合研究所などの研究施設が多数立地し、世界に誇る先進技術が次々と誕生しています。日本はEU全体より多くの特許技術を保有しており、TX沿線はそんな日本の技術開発を支える“屋台骨”となっているのです。

ただ、研究活動は国や支援団体からの予算がなくなると、あっさり終了してしまい、せっかくの技術が埋没してしまうことも多いとか。新たな技術は、事業化することで初めて、私たちの市民生活

にとって価値あるものになります。TEPは、このような優れた技術やビジネスモデルの事業化を支援する団体です。

お金だけではベンチャーは育たない

これまで日本でベンチャー支援活動といえば、ベンチャーキャピタルのように“組織”として投資を行う資金援助が中心。一方、「お金だけの支援では事業は成功しない」と語るTEP代表の村井勝さんは、事業化のノウハウを提供する“個人”の支援活動が最重要だと考えています。

TX沿線をはじめ近隣の常磐線沿線や千代田区には、既に起業して大きな成功を上げた人、いわば“先輩起業家”が多数暮らしています。また、財務や法律など専門知識を持つ住民や、豊富な海外経験で国際的な視点や人脈を持つ住民が多いのも特徴。このような地域住民やビジネスパーソンと、優れた技術を持つ研究者や起業家をネットワーク

で結びつけるのが、TEPの活動です。

カフェ AGORAは、沿線の起業家と支援者との交流促進を狙って、秋葉原とつくばの中間に位置する「柏の葉キャンパス」駅前に誕生しました。



TX沿線には学術研究機関やベンチャー企業支援施設が多数立地しており、日本でも有数の起業ポテンシャルが高いエリア。ITばかりが集中するシリコンバレーとは異なり、農業やバイオなど様々な技術が集約するこのエリアを、TEPでは「TXアントレプレナーズ・ベルト」と呼んでいる。

ベンチャー支援団体 「TXアントレプレナーパートナーズ (TEP)」

会員はすでに100者以上

TEPの活動が始まってから3ヵ月、早くも100者を超える会員が集まっています。大手企業から独立し、次世代スクリーンの開発を行う株式会社ALBEDO(柏市柏の葉)を立ち上げた山内直史社長も会員のひとり。「これまで複数のベンチャー育成施設に入居してきたが、技術・設備面の支援が中心だった。TEPでは、事業経験が豊富な会員から、具体的な営業先候補となる“人”を紹介して

もらえる」と、TEPのネットワークを活用した販路拡大に期待を寄せています。

筑波大学に通う山城牧人さんは、将来起業を考えている会員のひとり。「学生だけでビジネスモデルを話し合っても発展がない。事業成功者や起業経験者が多く集まるTEPで、自分のビジネスモデルをブラッシュアップしていきたい」と意気込んでいます。

企業支援で地域経済を活性化

TEPの評判はTX沿線を飛び越え、

九州や近畿などから参加する会員も。「TEPの価値が伝われば、多くのベンチャー企業がTX沿線に移転してくるのでは」とTEPの村井代表が語るように、企業支援活動は地域経済の活性化にもつながります。

そのため、TEPでは地域住民の積極的な活動参加を呼びかけています。財務や法律などの実務家で、自分が持つ専門知識を生かしてベンチャー企業にアドバイスする、いわゆる“知識の投資”を行う会員も多く集まっています。ベンチャー企業が将来成功を収めれば、彼らにとっても大きなビジネスチャンスになります。

会員の紹介や活動内容のレポートは、TEPのWEBサイトに公開されています。地域にどのような技術を持った企業があるのか、WEBをチェックするだけでも新たな発見がありそう。

TEPについての詳細情報はこちらまで

[WEBサイト] <http://www.tepweb.jp/>

[Eメール] contact@tepweb.jp



2月24日に行われたAGORAのオープニングパーティーには、柏市長をはじめ、東大や千葉大の研究者、TEPの会員などが集まり賑わった。



AGORAはTEP会員以外でも一般のカフェやバーとして気軽に利用できる。隣で食事している人が、将来日本を代表する起業家となるかも。

キーパーソン・トーク

アメリカの大学院を卒業して就職した私ですが、中学時代は英語が苦手でした。そこで高校入学時に、電話帳(ハローページ)を調べてカタカナの名前の人に「仕事を手伝うので英語を教えてください」と片っ端から往復はがきを出し、返事をくれた牧師のもとで英語を覚えたのです。このような好奇心と行動力から生み出される「人と人とのつながり」は、起業や会社経営においても大切な要素です。

起業家は、資金以上に人的支援を必要としているケースが多くあります。しかし、現在日本のベンチャーキャピタルは金融業界の出身者がほとんどで、支援先企業の業界分野における業務経験や人脈をもたず、起業の経験もない人が、ベンチャー支援を行っているのが現状です。組織と

して動いているので、担当者の異動・交代も定期的に行われます。このような状況で、日本の起業家率は過去10年もの間、経済先進24カ国中、最下位に低迷しています。

TEPは、様々な業界の実務経験者が個人レベルで投資・支援先の企業とつきあい、資金以外にもしっかりサポートする仕組みづくりを目指して立ち上げた団体です。TX沿線のベンチャー企業および起業家予備軍をアントレプレナー会員、投資や経営指南を行う人をエンジェル会員、技術・知識支援を行う人をサポート会員として、ベンチャー支援ネットワークを構築しています。

幅広い分野の研究者が活動するTX沿線は、1970年代のシリコンバレーに似ています。10~20年後には柏の葉が中心となって、日本を代表する多くのベンチャー企業が誕生する、知的でセンスの良い独特の文化を持った地域になっていくはずですよ。



村井 勝 氏

TXアントレプレナーパートナーズ 代表

1937年大阪府生まれ。62年、カリフォルニア大学大学院にてMBAを取得後、米国IBMに入社。IBM後は、コンパック株式会社の初代社長に就任し、日本の新たなパソコン市場を開拓。コンパック退職後よりベンチャー支援に携わり、国内外のベンチャー企業10数社の設立に関わる。アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパンの初代審査委員長。

□編集後記□

AGORAに人が集まって、交流の中から発想が生み出されている光景は、まるでパリのカフェに集まるアーティストたちのよう。でも、隣の席から聞こえてくる言葉は「超小型衛星」「次世代半導体」など超最先端。“日本の頭脳”と呼ばれる人たちの会話を盗み聞きするだけでも、知的好奇心が刺激されます。(小林)

●このニュースレターに関するお問い合わせ先

柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK) 広報担当 小林、蛭川
〒277-8518 千葉県柏市若柴字元堂178-3柏の葉キャンパス駅前148街区3画地
TEL 04-7140-9686 FAX 04-7140-9688
E-MAIL ma-kobayashi@udck.jp WEB <http://www.udck.jp>

柏の葉
アーバン
デザイン
センター

UDCK